

銅 概 況

大阪市中央区玉造2丁目28番10号
加藤金属興業株式会社

◎ 2020年9月の国内電気銅建値は下記の通りです。

9月	1日	～	750円/Kg
9月	4日	～	740円/Kg
9月	8日	～	760円/Kg
9月	11日	～	750円/kg
9月	16日	～	760円/kg
9月	24日	～	740円/kg

2020年9月度は平均で750.00円/kgとなり、前月比21.50円/kgの値上がりとなりました。

海外銅価の動き

9月のLME銅相場 9/1～9/29 (安値ドル6,529.00～6,837.00 高値ドル)
9月のNYC銅相場 9/1～9/29 (安値セント295.80～311.35 高値セント)

9月度のLME現物は、9/1 \$6,788.50 でスタート。\$6,000 台後半の相場価格は2010年以來の高いポジションでのスタートとなった。中国経済については回復基調と一部では伝えられるものの、世界経済としての好材料はなかなか見つけづらい。LME、COMEX、上海SHFEなど全て9月に入り2～3%のややダウン(9月29日入電分)の動きとなっている。LME在庫については、前月8/24に10万tを切った後も減少は変わらず推移したが、9月28日に10万tに回復。翌29日には13.6万tにまで増加する動きとなった。

中国国慶節前の動きとも考えられるが、経済状況とは必ずしもリンクせず、銅相場独自の動きとなっており、注意深く見て行く事が必要と思われる。

銅需給バランス…Brook Hunt 情報 2019年12月 資料より (単位/千トン)

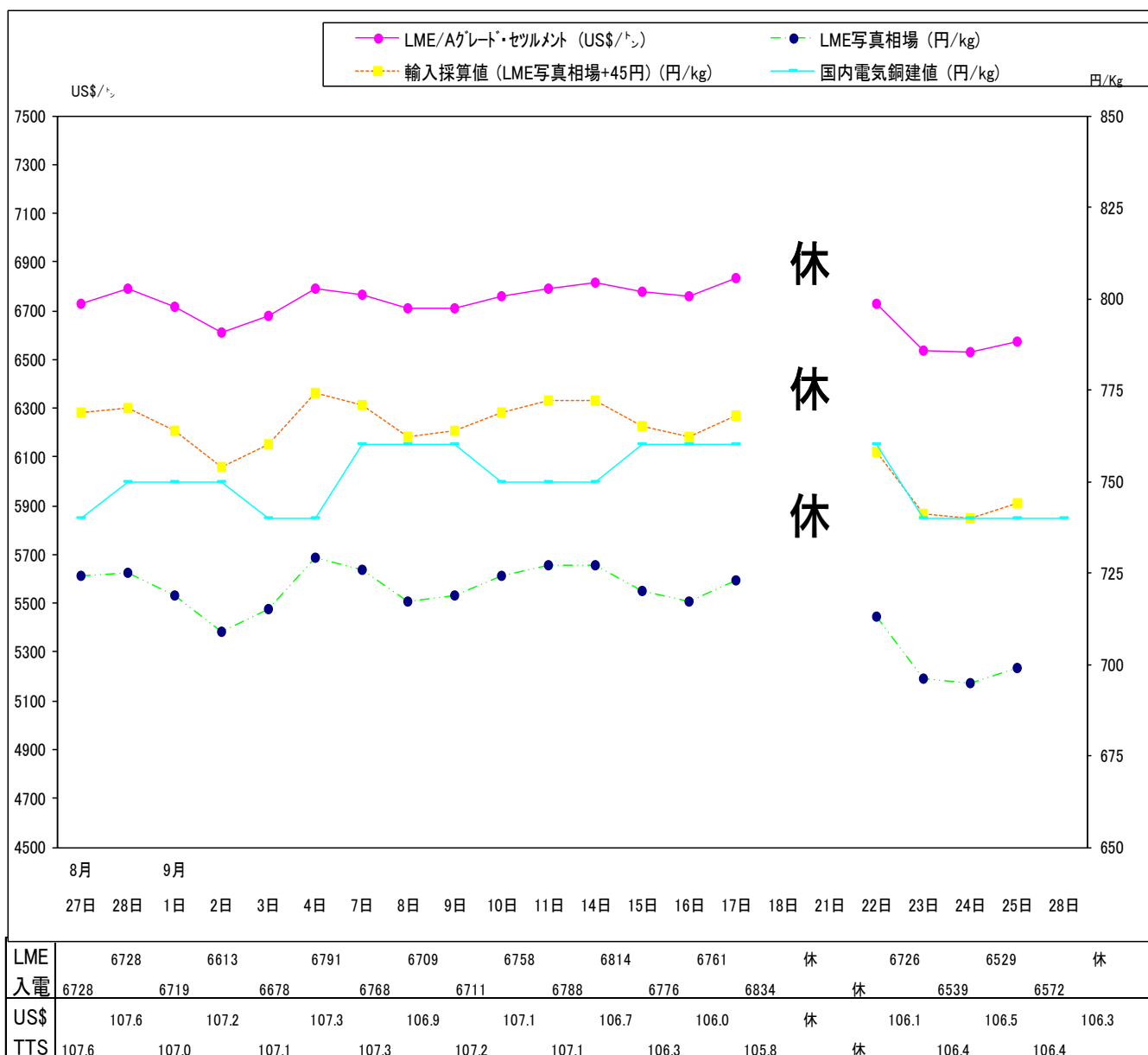
	2019年 実績	2020年 実績	前年比	2021年 予想	前年比	2022年 予想	前年比
全世界地金生産	23,531	23,986	+1.9%	24,639	+2.7%	25,095	+1.8%
全世界地金消費	23,621	24,040	+1.8%	24,593	+2.3%	25,196	+2.5%
全世界需給バランス	-90	-54		+46		-101	

先行き短期見通

国内銅価

9月の国内建値は9月1日750円でスタート。銅価は比較的小さなレンジ内での動きとなった。国内銅建値についてもこの動きを受ける形で、4日740円、8日760円、11日750円、16日760円、24日740円と為替との絡みの中で、変動幅の小さな上げ下げの動きとなった。9月平均は750円/kg 9/29付 LME \$6,546.00、同 為替 (TTS) 1USD=106.35 円で日本円換算計算値696円/kgに。20年10月度の国内電気銅建値のスタートは、以降変化のない限り、730円/kgの予想です。

◎ LME相場推移及び国内電気銅建値推移



◎ 2020年9月の国内亜鉛建値は下記の通りです。

- 9月 1日 ~ 316 円/kg
- 9月 9日 ~ 307 円/kg
- 9月 14日 ~ 313 円/kg
- 9月 17日 ~ 316 円/kg
- 9月 25日 ~ 301 円/kg

平均311.20円/kg

2020年9月は上記の通りで前月比 4.90 円/kg の値上げとなりました。

これはLME亜鉛相場が上昇したため。

◎ その他の建値

電気鉛	9月	265.50 円/kg	(前月比-	1.00 円/kg)
電気錫 (相対)	9月	3,300.00 円/kg	(前月比+	10.00 円/kg)
ニッケル (溶解用)	9月中価格	1,650.00 円/kg	~ 1,700.00 円/kg	
銀	8月平均	93,060.00 円/kg	(前月比+	22,360.00 円/kg)
	9月30日	83,760.00 円/kg		
金	8月平均	6,737.05 円/g	(前月比+	406.10 円/g)
	9月30日	6,470.00 円/g		

◎ 伸銅品関係

2020年8月の伸銅品・品種別生産速報 (全国ベース)

		7月度実績	8月度速報	前月比	前年8月度実績	前年同月比
銅	板	1,068	783	-26.7%	1,549	-49.5%
	条	15,640	12,391	-20.8%	17,224	-28.1%
	管	6,634	5,297	-20.2%	7,048	-24.8%
	棒	1,513	1,322	-12.6%	1,925	-31.3%
	線	241	191	-20.7%	241	-20.7%
黄銅	板	502	364	-27.5%	589	-38.2%
	条	4,483	4,088	-8.8%	6,701	-39.0%
	管	320	268	-16.3%	433	-38.1%
	棒	10,329	8,944	-13.4%	13,251	-32.5%
	線	1,087	1,004	-7.6%	1,695	-40.8%
青銅	板	1,734	1,458	-15.9%	1,883	-22.6%
	条					
	棒	226	187	-17.3%	251	-25.5%
	線					
洋白・その他	板	299	311	4.0%	310	0.3%
	条					
	棒	141	142	0.7%	290	-51.0%
	線					
合計	44,217	36,750	-16.9%	53,390	-31.2%	

8月の伸銅品生産速報は、36,750トンで前月比マイナス7,467トン、前年同月比マイナス31.2%となり、前年同月比が21ヶ月連続でマイナスとなりました。

電 線 関 係

電線工業会がまとめた銅電線主要7部門別出荷数量の6月分実績及び7月分推定によれば、6月分実績はコロナの影響が続き7部門のうち通信、電力を除いた5部門が軒並み前年同月を割り込み、総計は5万914tで前年同月比10.1%減と9ヶ月連続で前年を割り込んだ。この数値は今年5月を除けば、16年5月以来の低水準となり、新年度(20年4月度)以降二桁減が続いている。

6月分の部門別出荷をみると、前年同月比プラスは通信と電力の2部門のみ。通信はGIGAスクール構想向けのLANケーブルが動いていることや、携帯の基地局の同軸が健闘し、前年同月比13.5%増加した。電力は国内保守・メンテ向けとOFからCVへの張り替え需要、洋上風力向けが牽引し同23.6%増と最も高い伸びを示した。

一方マイナスグループは5部門。電気機械は貿易摩擦に加え、コロナが響き同16.7%減少し、22ヶ月連続での前年割れとなった。自動車はメーカー操業の低下により、生産台数が大幅に低下したため同30.9%の大幅減となり、3ヶ月連続での減少。建設電販は市販ルートが微減にとどまったものの、電設ルートがコロナの影響をモロに受けた。首都圏再開発等の大型案件が控えているも、コロナ禍で作業効率が低下し、同6.5%減少し、6ヶ月連続で下降した。その他内需も民間企業の設備投資の鈍化にコロナ禍が重なり、同9.2%減と3ヶ月連続で前年割れ。輸出も同22.4%減と大きく減少し、6ヶ月連続で前年を下回った。

2020年6月分(実績)・2020年7月分(推定)主要部門別出荷

部門	数 量						金 額		
	6月実績 (t)	対前月 比(%)	対前年同 月比(%)	7月推定 (t)	対前月 比(%)	対前年同 月比(%)	6月実績 (百万円)	対前月 比(%)	対前年同 月比(%)
通信	840	▼7.3	13.5	800	(▼4.8)	▼20.6	1,259	▼0.3	▼0.6
電力	(1,917) 4,687	(15.4) 26.2	(31.8) 23.6	(1,800) 4,200	(▼6.1) ▼10.4	(54.4) ▼4.1	(1,178) 5,944	(14.6) 41.2	(16.2) 32.4
電気機械	(284) 9,567	(30.9) 14.0	(▼21.1) ▼16.7	10,800	12.9	▼13.4	(270) 11,715	(37.1) 12.0	(▼19.4) ▼24.7
自動車	(118) 5,138	(34.1) 39.1	(▼2.5) ▼30.9	6,500	26.5	▼22.2	(408) 24,011	(32.5) 40.6	(▼4.0) ▼31.0
建設・電販	(39) 25,878	(680.0) 19.4	(85.7) ▼6.5	27,000	4.3	▼14.9	(51) 28,153	(537.5) 20.3	(131.8) ▼10.5
その他内需	(52) 3,713	(2.0) 16.5	(▼36.6) ▼9.2	(600) 3,600	(21.7) ▼3.0	(▼6.0) ▼23.2	(61) 6,526	(10.9) 22.4	(▼23.7) ▼6.8
内需計	(2,410) 49,823	(19.2) 19.9	(18.2) ▼9.8	(2,400) 52,900	(▼0.4) 6.2	(33.0) ▼15.6	(1,969) 77,609	(23.4) 25.7	(4.9) ▼17.9
輸出	(431) 1,091	(80.3) 118.6	(60.2) ▼22.4	(1,300) 900	(201.6) ▼17.5	(68.4) ▼15.8	(205) 3,407	(▼4.2) 38.2	(45.4) ▼25.7
合計	(2,841) 50,914	(25.7) 21.0	(23.1) ▼10.1	(3,700) 53,800	(30.2) 5.7	(43.6) ▼15.6	(2,174) 81,015	(20.2) 26.2	(7.7) ▼18.3
心線販売	(464) 20,076	(15.1) 8.0	(12.3) ▼33.6	(600) 21,500	(29.3) 7.1	(▼16.6) ▼34.9	(103) 12,474	(13.2) 10.3	(▼4.6) ▼39.8

(注) ()内はアルミ線を示し外数。ただし推定欄のアルミ線は電力、輸出部門以外は「その他内需部門」に一括計上。▼はマイナス。
金額は四捨五入の為計が合わない場合がある。

2020年6月分品種別出荷 単位:銅量:トン アルミ量:トン 金額:百万円

品 種	数量	対前月比 (%)	対前年 同月比(%)	金額	対前月比 (%)	対前年 同月比	
裸線	3,450	3.0	▼3.0	2,125	9.4	▼32.3	
巻線	8,161	23.7	▼25.5	7,768	25.1	▼33.8	
機器用電線	2,946	9.7	▼8.5	8,919	8.9	▼2.4	
通信用電線・ケーブル	1,262	5.1	▼6.5	2,800	13.3	▼7.4	
電力用電線・ケーブル	20,812	23.1	0.8	21,375	31.4	0.4	
被覆線	10,456	22.1	▼4.2	13,961	20.9	▼7.9	
輸送用電線	3,827	38.2	▼36.0	24,066	36.9	▼32.5	
銅電線計	50,914	21.0	▼10.1	81,015	26.2	▼18.3	
EM電線・ ケーブル	通信用電線・ケーブル 電力用電線・ケーブル、被覆線 計	65 2,597 2,667	22.6 16.2 16.3	▼22.6 ▼16.8 ▼16.9	245 2,923 3,186	34.6 18.7 19.5	▼7.5 ▼17.7 ▼17.0
アルミ電線計	2,841	25.7	23.1	2,174	20.2	7.7	
光製品	3,044,575	7.0	▼19.6	24,151	22.2	10.3	
うち、光ファイバーケーブルコード	-	-	-	4,897	19.2	5.0	

(注)2. 四捨五入の為計が合わない場合がある。

(注)3. 光製品の数量はkmc

(注)4. ▼はマイナス

◎ アルミニウム関係

- 国際アルミニウム地金相場、第1週、8月度の米製造業景況感指数が市場予想を上回りアルミ価格は堅調に推移。しかしながら8月度の米雇用統計が予想を大きく下回って発表されたことで、アルミ価格は反発。また米株式相場でIT株を中心に大幅下落したことを受け続落。波乱のスタートとなった。第2週、中国の貿易統計データにおいて、輸出額が予想を上回って増加していることを受け、世界経済回復への期待感が高まる。アルミ価格は堅調に推移。米国でハイテク株を中心に下落していた株価が回復。中国において新車販売台数が好調であったが、共にアルミ価格には大きな影響はなかった。第3週、ソフトバンクによる大型のM&A報道やワクチンの開発期待により米株価が上昇し、アルミ価格も上昇。中国において、鋳工業生産・小売売上高が好調で景気回復を示したものの値動きは小幅であった。第4週、米国において、景気回復を巡るリスクや財政による追加策の発言からドル高となり売りが入ったことで価格が下落。欧州で広がる新型コロナ第二波への懸念により8月初旬の価格水準となった。最終週、欧州並びに米国での新型コロナウィルス感染拡大を受け、アルミ価格は低水準。米国追加経済対策、新型コロナウィルス感染状況が、当面、アルミ価格において最も大きなファクターと考えられる。9月米ADP雇用統計、9月米失業率の指標が市場予想を下回り、感染拡大もより深刻化すれば、\$1,700前後での推移となる可能性もある。しかしながら当面は\$1,750前後での推移を予想。

○ 対日オファー及び国内価格

- ・対日オファー（CIF） 2020年 8~9月積 1,825.00~1,838.00 ドル/トン
- ・輸入採算価格 2020年 8~9月積 205.30~206.80 円/kg
- ・NSP 2020年 7月 223.90 円/kg
- ・NSP（メーカー対応価格） 2020年 10月~12月 240.00 円/kg

○ IAI統計アルミニウム新地金生産高（単位=千トン）

	' 20年7月	' 20年8月	' 19年8月
月生産	*2,319.0	2,315.0	2,380.0
平均日産	*74.8	74.7	76.8

(*＝訂正有り) 中国は対象外にしております。

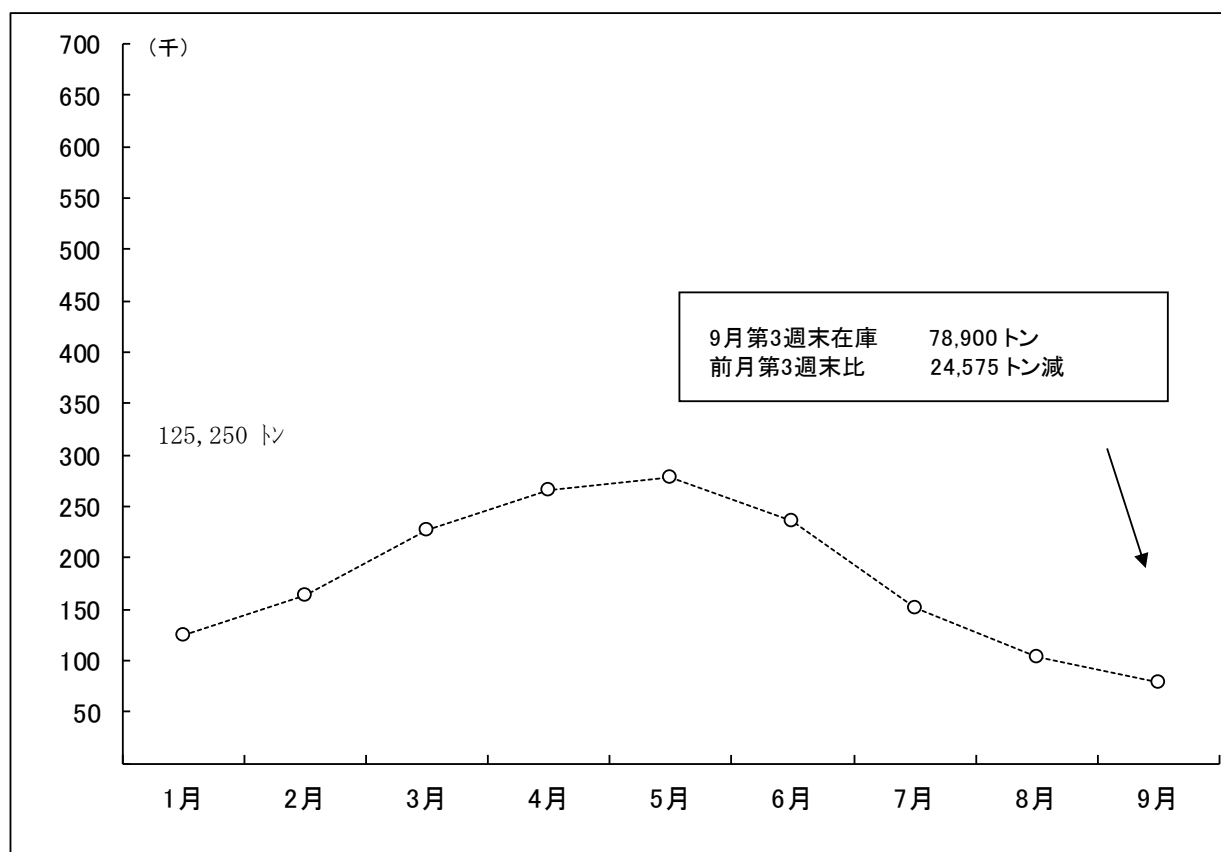
○ アルミインゴット港湾在庫

(単位：トン)

	2020年5月	2020年6月	増減	2019年6月	増減
横浜	166,700	164,300	-2,400	154,300	+10,000
名古屋	156,300	168,000	+11,700	130,700	+37,300
大阪	15,500	15,000	-500	15,000	±0
合計	338,500	347,300	+8,800	300,000	+47,300

上記アルミインゴット港湾在庫に変更致しました。(2015年1月分からの変更です)

◎ LME銅在庫 (各月第3週末参考)



◎ COMEX在庫 (第3週末)

・20年9月17日現在 81,299 S T 前月比 6,026 S T 減

◎ 国内山元電気銅在庫

・20年7月末 113,188 トン 前月比 3,918 トン減

◎ 伸銅品生産実績

・20年7月確報 44,217 トン
・20年8月速報 36,750 トン 前月比 79.5 %

◎ 電線出荷実績

・20年8月速報 44,600 トン 前月比 82.9 %

◎ 軽圧品生産実績

・20年 8月	板 類	72,121 トン	
	押 出 類	46,260 トン	
		<hr/>	
		118,381 トン	前月比 83.5 %

以上簡単ですが銅概況、他のご報告申し上げます。